

脱炭素社会の実現に向けて

世界 規模で進む地球温暖化。世界各地で記録的な熱波、森林火災、大雨・洪水などが発生しており、日本の年平均気温も過去最高は2020年、2番目は2019年と近年の上昇傾向が顕著になっていきます。今後も地球温暖化が進行していくおそれがある中で、「脱炭素」という取り組みが世界中で広まっています。「脱炭素」とは、省エネへの取り組みや再生可能エネルギー等を活用することで、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を減らし、森林などによる二酸化炭素の吸収量を排出量から差し引いて、最終的に「実質ゼロ」にする取り組みです。その結果もたらされる世の中のことを「脱炭素社会」といいます。今月号では「脱炭素社会」の実現に向けて私たちが心掛けられる行動をご紹介します。

資源物の再資源化を促進

脱炭素 炭素社会を実現するために可燃廃棄物（可燃ごみ）の焼却に伴う二酸化炭素の削減を、

図ることは、有効な手立てのひとつです。そのため、プラスチックごみを減らし、リサイクルによる資源物化を目的に令和4年4月1日、プラスチック資源循環法が新たに施行されました。菟野町では平成13年からプラ製容器包装品、平成29年から製品プラスチックの資源物回収を開始していますが、プラ製容器包装品は平成29年、製品プラスチックは平成30年を境に回収量が減少傾向にあります。また、それに反して可燃廃棄物の総量が増加している傾向にあります。



特集 STOP 地球温暖化

鈴鹿山脈に広がる森林。この自然を守っていくために菟野町でも「脱炭素社会」の実現を目指していく必要があります。

01 再資源化促進

プラスチック製容器包装品や製品プラスチックを正しく分別し、回収することで再資源化を図ります。各家庭での資源物の回収にご協力をお願いします。

プラスチック製容器包装品

- ▶ 中を洗ってきれいにし、できるだけ漬す
- ▶ ラベルは剥がさなくてもよい
- ▶ 中身入り、汚れが取れないものは不可

製品プラスチック PP・PE

- ▶ シール類は剥がす
- ▶ 汚れがあるものはよく洗う
- ▶ 金属、ゴム等の材質が違うものは除去
- ▶ ペットボトルやプラ製容器包装品と区別

家庭でできる心掛けから

意 外な部分で家庭での二酸化炭素排出量を減らすことができる取り組みもあります。近年、宅配便の取り扱ひ個数が増加し、それに伴い、二酸化炭素排出量が増加していることが注目されています。全国に届けられる宅配便の荷物のうち約12%が再配達によって届けられる荷物ともいわれており、再配達によって排出される二酸化炭素排出量は約42万トにもなると推計されています。再配達と

ならないよう1回で荷物を受け取るよう心掛けをお願いします。また、省エネ家電の活用も有効です。最新の省エネ家電への買い替えは二酸化炭素排出量を減らし、電気代の節約や暮らしの利便性向上にもつながります。最近では省エネ家電に省エネ性能や年間の目安電気料金がわかる「統一省エネラベル」が明示されています。買い替えを検討の際は、参考にさせていただきたいと思います。「脱炭素社会」の実現に向けて



03 省エネ家電

最新の省エネ家電は、消費電力が低減しており、二酸化炭素排出量の減少につながります。

10年前の家電と最新家電の比較



10年前と比べると 年間電気代 約7,160円お得



10年前と比べると 年間電気代 約1,890円お得



10年前と比べると 年間電気代 約2,850円お得



LED照明に換えると 年間電気代 約2,110円お得

出典 (一財) 家電製品協会 2022年版 「スマートライフおすすめBOOK」

02 再配達を削減



できる限り1回で荷物を受け取るために、日時の指定、自宅以外での受取方法の活用や宅配事業者が提供するアプリ等を積極的にご活用ください。

- Method 01** 受取日時・時間帯の指定
確実に受け取れる日時・時間帯を指定するようにしましょう。
- Method 02** 置き配・宅配ボックス利用
自宅に不在の時でも受け取れるよう手配しておけば安心です。
- Method 03** 自宅以外での受け取り
コンビニや宅配ロッカーを有効活用しましょう。

地球環境のために 今、私たちが できること

大切なことは、一人一人の心掛けです。今回の特集でお伝えした行動で減らすことができる二酸化炭素排出量はわずかもかもしれません。町全体で取り組めば大きく減少させることができます。そのためには一人一人の意識が大切です。地球全体の自然を守り、地球温暖化を進行させないために、各家庭でも分別方法や暮らし方を見直し、できる限りご協力をお願いします。

問い合わせ 環境課 TEL 391-1150 FAX 391-1193